

腐葉土中に含まれる人工放射性核種分析の結果

平成 23 年 7 月 27 日
高知県衛生研究所

1 検査検体

平成 23 年 7 月 27 日 18 時 50 分に高知県農業政策課から衛生研究所に持ち込まれた検体

検体N○ 腐葉土 1

商品名： 国内葉 100%腐葉土 完熟

検体N○ 腐葉土 2

商品名： 国内葉 100%腐葉土 完熟

2 検査機関・検査日時・検査方法

○ 検査機関 高知県衛生研究所

○ 検査日時・検査検体量

腐葉土 1・腐葉土 2 平成 23 年 7 月 27 日 19 時 07 分～19 時 37 分 64g

○ 検査方法

ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析法

腐葉土 1 及び腐葉土 2 を均等にサンプリングして測定検体とした。

3 検査結果

単位 Bq/kg

検体	セシウム-137	セシウム-134	放射性セシウム合計
腐葉土 1	230	220	450

4 結果の評価

■汚泥肥料の原料として使用できる放射性セシウム濃度は、200Bq/kg であり、450Bq/kg は、この濃度の 2.25 倍

※肥料に利用する放射性物質を含む汚泥の取り扱いについて
(平成 23 年 6 月 24 日 農林水産省 消費・安全局)

■腐葉土の表面で測定した空間放射線量は 0.07 マイクロシーベルト/時であり、表面付近で作業をしても、健康には全く影響のないレベルである。

(参考)

地上 1 m 地点での NaI シンチレーション式サーベイメータによる
空間放射線量率調査結果 0.03 マイクロシーベルト/時

測定日時：平成 23 年 7 月 27 日 午前 10 時

測定地点：高知市丸ノ内 1-2 高知城公園すべり山